

JACDS ダイレクトニュース

発行：一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

2020年7月 家電、ホームセンター 2桁台の伸びへ

経産省は8月31日、2020年7月分の商業動態統計（速報値）を発表しました。

2020年7月のドラッグストア販売額は6,204億円、前年同月比で見ると5.6%の増加となっています。今年に入って総売上上の増加率が6%を割り込むのは初めてになります（店舗数は3.6%増加）。

一方、家電大型店舗、ホームセンターが6月、7月と2桁台の大きな伸びを示しています（家電大型店舗6月25.6%）。リモートワークや巣ごもり需要をうまく掘り起こした売場づくりで、新たな需要を喚起しています。ドラッグストアでは感染症予防、ウィズコロナに関わる需要喚起の余地はまだあると思われます。

販売額全体で見ると化粧品は依然として2桁台のマイナス、OTC医薬品も5カ月連続のマイナスになっています。

■2020年1～7月 ドラッグストア商品別販売金額（対前年同月比 増減）

（単位：％）7月のみ速報値

	2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総売上		6.3	19.1	7.6	10.8	6.4	6.5	5.6
調剤医薬品		11	16.7	10.8	11.2	2.4	7	7.3
OTC医薬品		0.8	18.1	▲5.3	▲1.1	▲5.3	▲0.7	▲1.2
ヘルスケア用品（衛生用品）・介護・ベビー		21	46.9	15.1	18.3	29.2	32.4	37.6
健康食品		7.6	13.4	▲4.3	▲3.9	▲6.2	1	2.2
ビューティケア（化粧品・小物）		2	3	▲10.2	▲15.4	▲18.5	▲11.6	▲12.3
トイレタリー		4.3	14.7	3	5.4	2.7	4.8	3.9
家庭用品・日用消耗品・ペット用品		5.1	30.8	18.9	20.2	11.1	11.9	11.1
食品		7.8	17.9	18.2	27.2	20.7	11.3	8.3
その他		▲0.0	11	5.6	9.4	12.9	15.7	12.9

経済産業省 商業動態統計速報 2020年8月31日

7月のドラッグストア調剤は、今年4月の薬価引下げ、調剤報酬改定の影響が全国的に反映された数字だといえます。その結果、対前年比で7.3%増というのは、ドラッグストアで応需する処方せん枚数が、今年4月の薬価引下げや新型コロナによる受診抑制、長期投与の拡大などを凌いで増加していることが裏付けられます。7月分を金額ベースで見ると、調剤502億円、OTC医薬品751億円、化粧品766億円となっています。調剤がOTC、化粧品に肉薄している状況ではありますが、今後、社会保障費の「給付と負担」の見直しを含めて、その動向が注目されるところです。

（文責：横田）

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 サポートセンター

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569